

# 神楽坂 2014年版

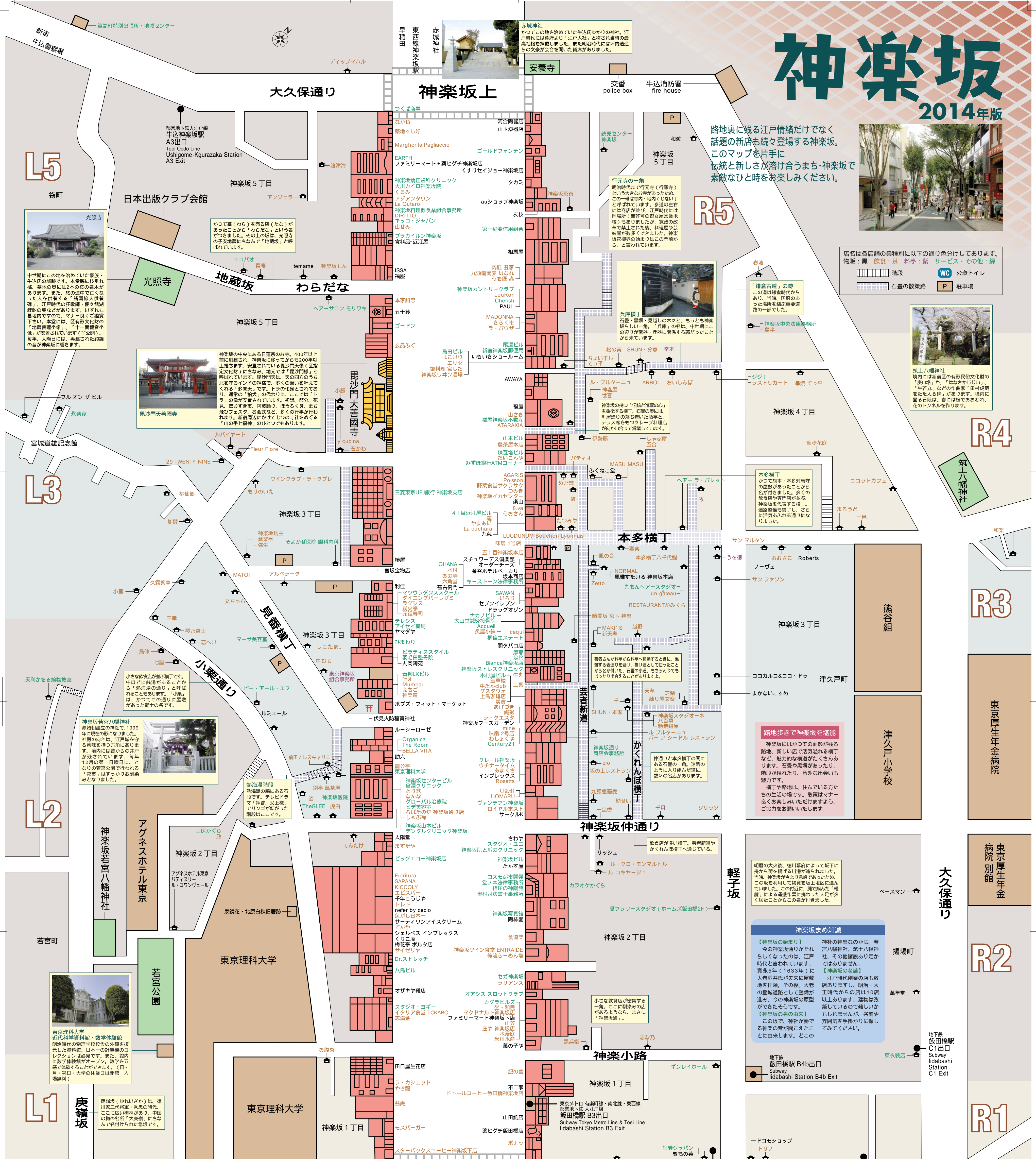
路地裏に残る江戸情緒だけでなく、話題の新店も続々登場する神楽坂。このマップを片手に、伝統と新しさが溶け合うまち・神楽坂で、素敵なひと時をお楽しみください。



店名は各店舗の業種別に以下の通り色分けしてあります。  
物販: 黒 飲食・茶 料亭・茶 サービス・その他: 緑  
階段 WC 公共トイレ  
石畳の敷設路 P 駐車場



筑士八幡神社  
境内には新宿区の有形民俗文化財の「唐申」や、「はなさかししい」、「牛若丸」などの作曲家「田村虎蔵」をたたえる碑があります。境内に置る石段は、春には桜でおおわれ、花のトンネルを作ります。



### 路地歩きで神楽坂を堪能

神楽坂にはかつての面影が残る路地、新しい店が活気溢れる賑わいなど、魅力的な街歩きが楽しめます。石畳や黒塀があったり、階段が現れたり、意外な出会いも魅力です。  
橋丁や路地は、住んでいる方たちの生活の場です。敷居はマナー良くお楽しみください。ご協力をお願いいたします。

### 神楽坂まめ知識

【神楽坂の始まり】  
今の神楽坂通りがそれらしくなったのは、江戸時代と言われている。寛永5年(1633年)に大老酒井氏が失楽に屋敷地を拝領。その後、大老の屋敷通として整備が進み、今の神楽坂の原型ができたそうです。  
【神楽坂の名の由来】  
この坂で、神社が建てられた神楽の音が聞こえたこと由来です。この

神楽坂の神楽の由来は、若宮八幡神社、筑士八幡神社、その他諸説あり定かではありません。  
【神楽坂の老舗】  
江戸時代創業の店も数店あります。明治・大正時代からの店も10店以上あります。建物は改築しているものも少なくありません。名前は変わりましたが、昔ながらの雰囲気を手掛かりに探してみてください。

### 神楽坂界隈は桜の名所がいっぱい!

四季折々、一年を通して楽しめる神楽坂ですが、桜の季節は特にお楽しみ! 龍沙門天善國寺の桜や、筑士八幡神社の桜のトンネルが皆さんをお迎えします。飯田橋と市ヶ谷を結ぶ外堀の桜も見事です。桜の名所である千鳥ヶ淵や靖国神社までも元氣な方なら10~15分歩いていきます。歩き疲れたら神楽坂の名店をひと休み、春の一日を神楽坂周辺の桜めぐりで楽しんでください。

### 神楽坂マップ

2014年(平成26年)3月5日 第7号 配布店  
編集発行 神楽坂通り商店会  
Tel.03-3268-2802  
制作 PC用ホームページ  
デザイン HC E&D  
印刷 (株)クリート

### 神楽坂通商店会

マップの歴史にまつわる解説は、新宿区まちづくり推進局「神楽坂まち歩き」(1997年)と2004年に郷土研究会 水野正雄会長に伺った話を参考にまとめた。

神楽坂通商店会  
PC用ホームページ  
<http://kagurazaka.in>

1636年(寛永13年)に築造された江戸の門のついで、現在は石畳の一部が残っています。神楽坂の歴史を伝える神楽坂通り商店会が、桜を大切に育てています。

神楽坂通商店会  
PC用ホームページ  
<http://kagurazaka.in>

本誌はリサイクル推進のため再生紙を使用しております。